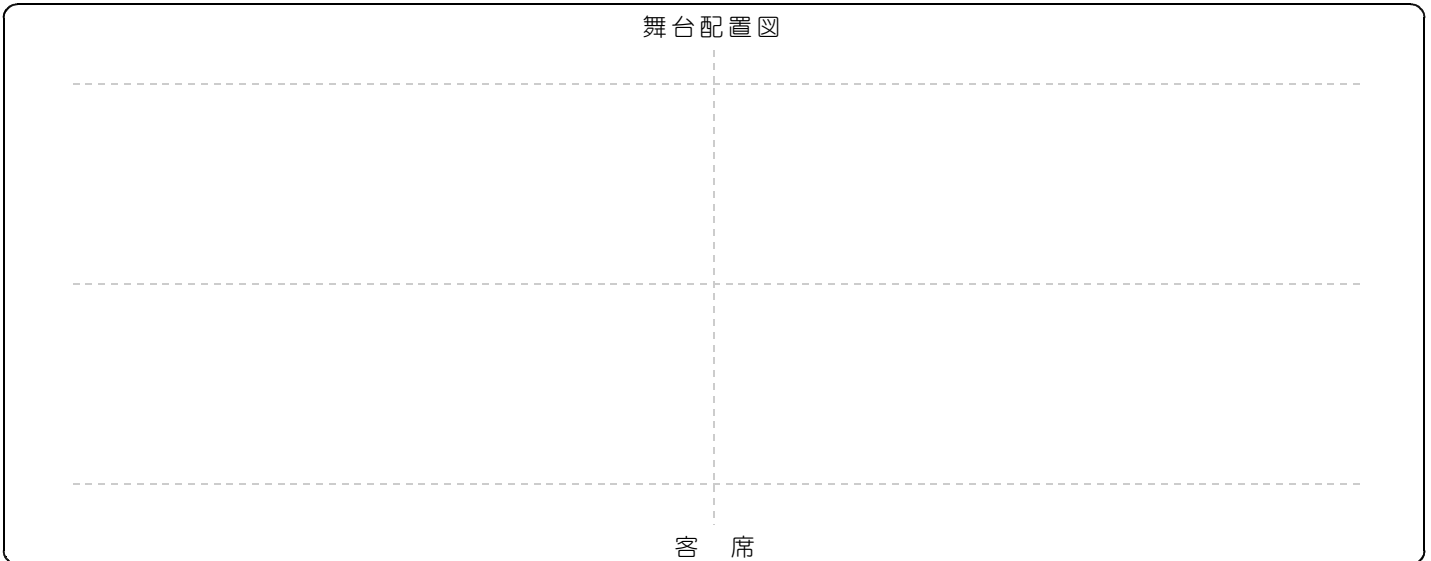


No.	南の風、東の風	演奏者数	演奏時間
-----	---------	------	------



客 席

表示記号一覧	- 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ モニター	□ 毛氈	W 屏風
立奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44	編成： 第1三絃	第2三絃
第1三絃	D G D	本調子	
第2三絃	C G D		

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1992年 委嘱者 森の会 構成 三弦 I A B II A B 時間 10分 出版楽譜 ミュージックエス
 解説 三味線音楽には非常に多くのジャンルがあり、夫々が微妙に異なる楽器の音色を特徴としながらも、それらは唄の伴奏に終止して、楽器自体を生かす器楽曲があまり作られていないのは、三弦の楽器としての性能を考えた時非常に残念に思える。それでも近年、何人かの演奏家や作曲家の努力により、三弦の器楽曲も顔を出し始め、その器楽性が大きく評価されてはいるが、その数はまだまだ少ない。また元祖？沖縄の音楽の場合も同じであり、楽器の性能に於いては、やはり追及が遅れているようだ。そこで敢えて沖縄をも題材に含め、第一章「南の風」とした。これは撥を使用せず、指だけで演奏するよう試みている。第二章「東の風」は撥を使用し通常の演奏法に寄っている。1992年4月作曲。 [作曲者] 収録媒体 -